

**派遣労働における集团的労使関係に関する調査研究報告書**  
(連合非正規労働センターとの共同研究)

|     |        |                               |
|-----|--------|-------------------------------|
| 主査  | 高橋 賢司  | 立正大学法学部 准教授                   |
| 委員  | 大山 盛義  | 山梨大学生命環境学部 教授                 |
|     | 長谷川 聡  | 専修大学法学部 准教授                   |
|     | 半沢 美幸  | 電機連合 中央執行委員                   |
|     | 大谷 直子  | JAM 副組織グループ長                  |
|     | 梅田 伸二  | 情報労連 組織拡大局長                   |
|     | 西尾 清   | メイテック労組 中央執行委員長               |
|     | 梅田 弘   | UAゼンセン人材サービスネーション 会長          |
|     | 村上 陽子  | 連合 非正規労働センター 総合局長 (～2015年10月) |
|     | 石田 輝正  | 連合 非正規労働センター 局長 (2015年11月～)   |
|     | オブザーバー | 渡辺 温子                         |
| 事務局 | 小島 茂   | 連合総研 副所長                      |
|     | 麻生 裕子  | 連合総研 主任研究員 (～2015年9月)         |
|     | 江森 孝至  | 連合総研 主任研究員                    |
|     | 伊東 雅代  | 連合総研 主任研究員                    |
|     | 中村 善雄  | 連合総研 主任研究員                    |
|     | 藤川 由佳  | 連合 非正規労働センター                  |

---

本研究は、連合非正規労働センターとの共同調査研究により、ドイツをはじめ欧州の動向や取り組みを参考に、日本における集团的労使関係の枠組みによる派遣労働者の雇用の安定（直接雇用化）や処遇改善の取り組み課題について検討してきました。本報告書では、集团的労使関係という視点から、第Ⅱ部で欧州の取り組みを紹介するとともに、第Ⅲ部ではわが国における派遣元・派遣先の労働組合による取り組み実態を検証しつつ「一時的労働モデル」による派遣労働者の雇用の安定、均等処遇の実現に向けた集团的労使関係の取り組みと課題をまとめています。

---

## 目次

|     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 第Ⅰ部 | はじめに（問題意識と分析の視角）                |
| 第Ⅱ部 | ドイツ、フランス、イギリスの労働者派遣             |
|     | 第1章 ドイツの労働者派遣法                  |
|     | 第2章 フランスの労働者派遣制度と集团的労使関係について    |
|     | 第3章 イギリスにおける派遣労働者に対する法規制        |
|     | 第4章 小括（日本法との比較）                 |
| 第Ⅲ部 | わが国における労働者派遣の課題と集团的労使関係に期待される役割 |
|     | 第1章 労働者派遣における集团的労使関係を考える重要な視座   |
|     | 第2章 一時的労働モデルによる派遣労働者の雇用の安定      |
|     | 第3章 均等（均衡）処遇の実現                 |
|     | 第4章 労働者派遣をめぐる集团的労使関係の形成・強化に向けて  |